

市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-①	美化緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成25~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	快適な観光地を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	5,000	5,968	7,068	6,742	6,457
		(b) 予算現額	5,000	4,722	4,727	4,308	2,782
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,246	▲ 2,341	▲ 2,434	▲ 3,675
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	5,000	4,722	4,727	4,308	2,782
	B. 執行済額		3,921	4,722	4,727	4,308	2,782
	うち交付金充当額		3,136	3,777	3,781	3,446	2,225
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		78.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初、4名の作業員により事業を実施する予定であったが、欠員により配置できない期間が生じ、事業規模を縮小して実施したため、これに係る賃金、共済費、需要費、原材料費3,675千円を減額した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	公園9カ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	目標	( 8カ所 )	( 年4回 )	( 美化・緑化の実施 )	( 公園9カ所の美化・緑化の実施 )	
		実績	8カ所	年3回	美化・緑化の実施	公園9カ所の美化・緑化の実施	
			目標	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	年間を通し、観光関連施設9カ所の美化・緑化作業を実施し、観光客が気持ちよく利用できるよう取り組んだが、年間を通して確保することができた作業員は1名となり、その結果1つの施設に時間を要し、美化・緑化の行き届いた9カ所の施設の提供を十分に行えなかった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施。 農村公園、ふるさと海浜公園、八重山遠見台、ミヅ公園等9カ所	目標	( )	( 年4回 )	( 9カ所 )	( 9カ所 )	( )
		実績			年3回	9カ所	9カ所
	【H30成果目標】 観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。		目標				
進捗状況説明	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化については、9カ所で実施し、目標を達成した。作業員が不足している中、美化・緑化作業の最も必要な施設を優先して作業を実施し、観光客が気持ちよく利用できるよう取り組みを行った。						

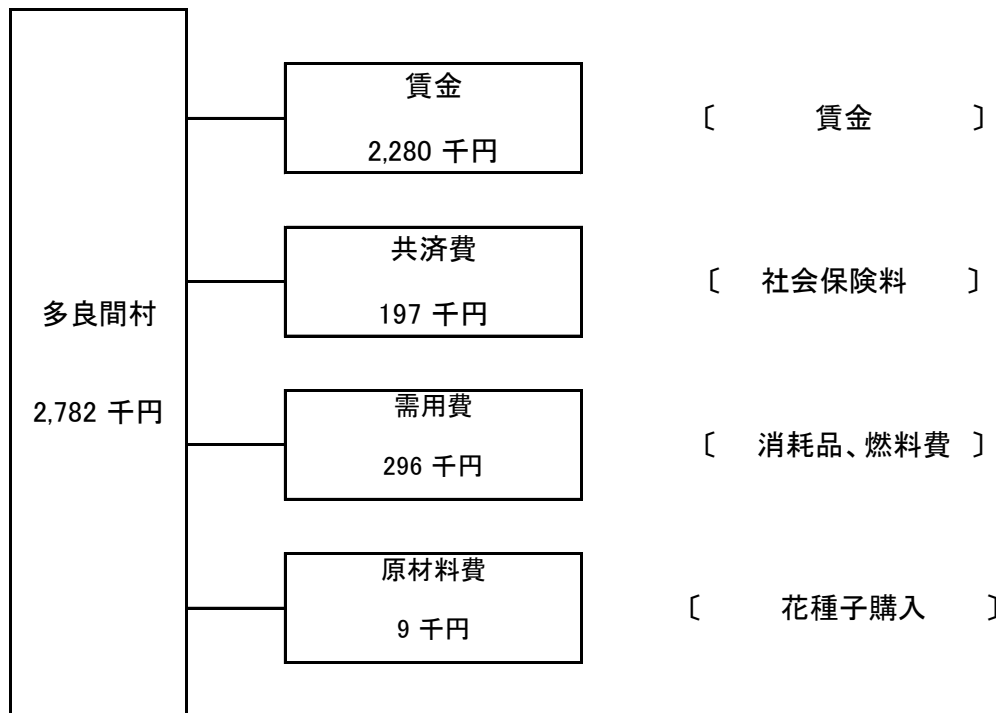
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	年間を通して作業員の確保が出来ず、実施地区の通年における美化・緑化を達成するため、人員不足が課題となる。また、賃金について村内の類似する作業員と比べて低く設定しているため年間契約を希望する者が少ない。	人員を確保するために、賃金等の雇用条件の見直しを行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

雇用の形態に柔軟性を持たせ、勤務日数や時間、賃金など様々なニーズに対応することで作業員を確保をする。村内の掲示板等や広報や村のホームページにおいて周知を図り、人員確保に努めたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,782	2,782	2,225	557	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	年間を通して対応できる作業員等であり、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	清掃作業に必要な人件費や需用費等であり適正な予算規模と考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者との負担関係は発生しない。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった。

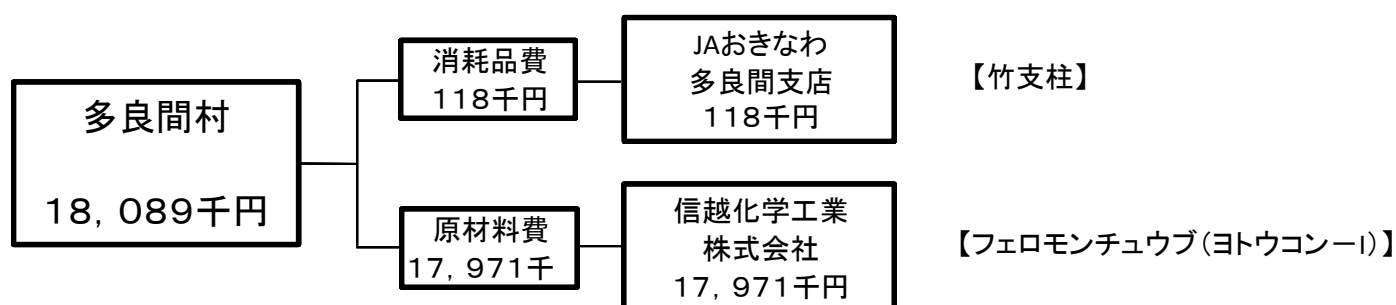
市町村名	多良間村						
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	イネヨトウかく乱防除事業(フェロモンチューブ)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ	
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成25~29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチューブを設置し、イネヨトウが雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、次世代密度を低下させる。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,000	20,000	20,000	19,999	19,931
		(b) 予算現額	20,000	20,000	19,935	19,999	18,089
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲65	0	▲1,842
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	20,000	20,000	19,935	19,999	18,089
	B. 執行済額		19,994	20,000	19,935	19,872	18,089
	うち交付金充当額		15,995	16,000	15,948	15,897	14,471
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	100.0%
予算の状況の説明		H29年度より、村が直接事業を実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチューブ設置による防除を行う。	目標	(フェロモンチューブ設置による防除)	(フェロモンチューブ設置による防除)	(フェロモンチューブ設置による防除)	(フェロモンチューブ設置による防除)	
		実績	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	フェロモンチューブ設置による防除	
	フェロモンチューブ設置対象面積416ha	目標	( )	( )	(381ha)	(416ha)	
		実績			416ha	416ha	
達成状況説明	平成生24年度に沖縄県がイネヨトウ交信かく乱法による一斉防除普及技術普及事業を実施した経緯があり、島全域による交信かく乱法防除効果により、年々イネヨトウの数は減って一定の効果は見受けられるがさとうきび被害は未だにない状況にあることから平成25年から平成29年の5年間実施した。イネヨトウによる被害は減少したが、カンシャシクイハマキの被害が目立ってきていることから今後対応していきたい。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	さとうきびの安定生産と品質向上が可能な環境の確保	目標	( )	(生産安定と品質向上)	(生産安定と品質向上)	(生産安定と品質向上)	( )
		実績		生産安定と品質向上	生産安定と品質向上	生産安定と品質向上	
	【H30年成果目標】 さとうきびの安定生産と品質向上の維持	目標		収穫量 20,682t	収穫量 19,910t	収穫量 21,600t	収穫量 23,000t
進捗状況説明		さとうきびの安定生産と品質向上が可能な環境の確保については、防除作業を島内全域で実施したことにより目標を達成した。事業実施前に行った、島内2カ所における定点調査で捕獲されたイネヨトウの数は701匹で、年々数が減っていき平成29年度は53匹となった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェロモンチュウブ設置はさとうきび畑、草地等、作物の違いによって設置方法が異なるため、関係機関・村民の協力のもと、効果的な方法の検討を行う必要がある。</li> <li>チュウブ設置の作業が、さとうきび収穫時期に被るため、毎年各区長連携の下、農家への理解に努めながら実施しているが、設置作業に参加しない農家もいるため、不満を感じる方も見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置方法や設置後の取扱いについて、関係機関・村民からの情報交換を定期的に行い、より効果が発揮できる方法を探る。</li> <li>参加する農家の不満(不参加に対する)の解消や設置スケジュールの見直しを検討し農家への理解を求める必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関・村民との情報交換を定期的に行い、現状把握や問題点にはいち早く取り組める体制作りを進める。</li> <li>不参加者が出ないよう、スケジュールの見直し及び事業の必要性や島内全域で取り組むことで効果が期待できることを周知、関係強化に努める。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,089	18,089	14,471	3,618	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・原材料については、国内において当業者のみの生産・販売をおこなっている。また消耗品についても、村内で取り扱っている唯一の事業者のため妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算現額について、事業内容に見合った執行となっており、適正な予算規模と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については精算段階で検査と実施しており適正である。

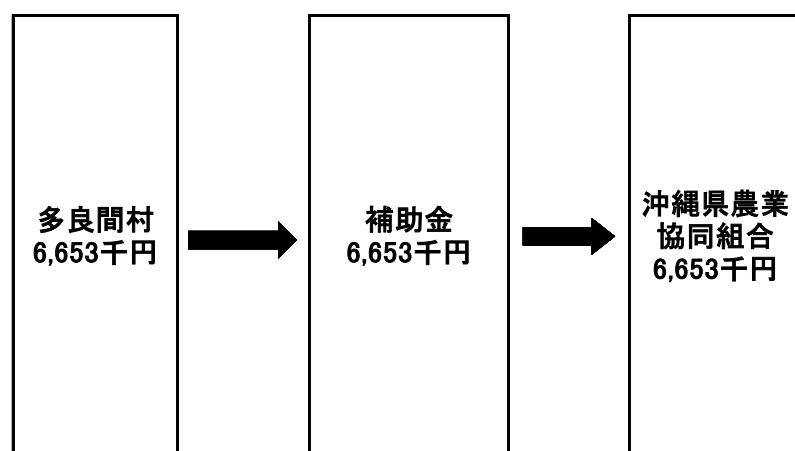
市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-③	優良繁殖雌牛導入支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部課名	産業経済課	事業実施(予定)年度	平成27年度～31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。購入費の税抜価格の1/2以内で最高40万円までを支援する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(33年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,500	4,500	7,500		
		(b) 予算現額	4,500	4,500	8,000		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	500		
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	4,500	4,500	8,000		
	B. 執行済額		600	1,800	6,653		
	うち交付金充当額		480	1,440	5,322		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		13.3%	40.0%	83.2%		
予算の状況の説明		今年度の導入は、20頭予定の内17頭が導入され、399千円の不用を出した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
		27年度	28年度	29年度	30年度		
	優良繁殖雌牛の導入頭数:15頭	目標 ( 15頭 )	( 15頭 )	( 15頭 )			
		実績 2頭	6頭	17頭			
達成状況説明	年間計画は15頭の導入予定だが、事業実施の遅れ、県内外の子牛セリ価格の高騰が続いており、導入頭数は17頭となっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(33年度)	
	H29年度においての、優良繁殖雌牛導入進捗率(対計画頭数):22% (※参考)H27～H28の2年間で30頭、H29～H31の3年間で60頭の合計90頭	目標	( )	( 20% )	( 20% )	( 22% )	( )
		実績		2.6%	8.0%	22.6%	
	【H33成果目標】 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 112.5%以上	目標					112.5%以上
	進捗状況説明	H29年度においての、優良繁殖雌牛導入進捗率については、22.6%となり目標を達成した。H29年度は導入頭数17頭となり、実績22.6%となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・事業の導入にあたり農家への説明会を実施し申請を受付たが、農家が求める牛の系統や価格等の条件面の調整(把握)に想定以上の時間を要したため、購買実施主体(県農業協同組合)との導入調整が遅れた。</p>	<p>・事前に農家及び購買実施主体へのニーズ調査の実施や各セリ場で上場される頭数等の状況を把握することで早急に事業開始につなげる必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>・各セリ市場で上場される頭数及び系統の状況を把握するとともに、農家及び購買実施主体へのニーズ調査を早めに行い、需要と供給の情報を取りまとめる体制を整え、より多くの優良繁殖雌牛を導入できるようにする。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,254	6,653	5,322	1,331	7,601



優良繁殖雌牛の導入:20頭  
 40万円を上限とし、1/2以内を支出  
 例:50万→25万補助金(農家負担→25万)  
 90万→40万補助金(農家負担→50万)

資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○農業協同組合は県内外での導入実績があり、妥当だと判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○飼養頭数の2%で年間時価保留頭数の1/3程度なので規模は適正
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○負担割合は1/2以内としており他の1/2リース事業などと比べても妥当と判断
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、補助金支出時に検査を実施しており事業目的に必要な支出と判断

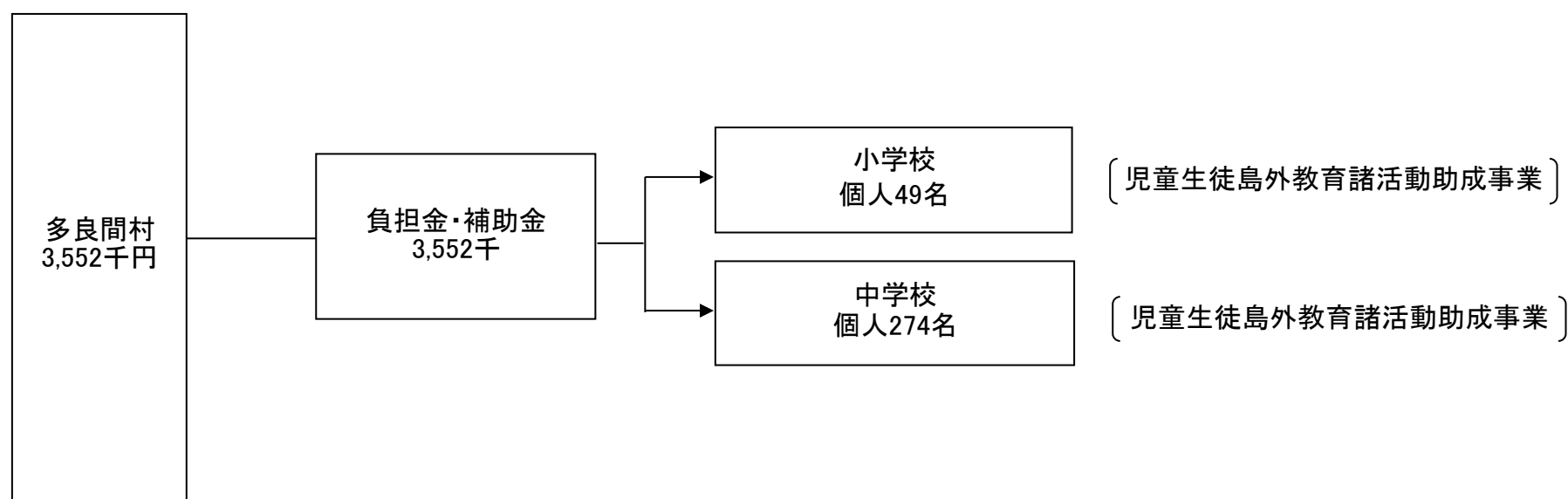
市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒島外教育諸活動助成事業					
担当部課名	多良間村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度 平成27年～33年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上					
		沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を拓く子ども達の能力向上を図るため、島外で実施される各種大会へ児童生徒を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	28年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,350	5,164	4,725		
		(b) 予算現額	4,592	3,948	3,522		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 758	▲ 1,216	▲ 1,203		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	4,592	3,948	3,522		
		B. 執行済額	3,543	2,552	3,522		
		うち交付金充当額	2,834	2,041	2,817		
		次年度繰越額	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)	77.2%	64.6%	100.0%		
予算の状況の説明	当初予算は、5093千円を予定していたが、過大見積のため 9月補正で予算1541千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	各種大会への児童生徒派遣	目標	派遣実施	派遣実施	派遣実施		
		実績	派遣実施	派遣実施	派遣実施		
達成状況説明	交通費や宿泊費等の助成を実施し児童生徒を各種大会へ派遣した。実績として地区大会への派遣回数32回・県大会派遣回数5回、派遣延人数323人の派遣ができ、子ども達の能力、才能を発揮する機会を提供できた。児童生徒へのアンケートで(対象者71名 回収率100%)、小学校13%・中学校40%がスポーツや文化事業に参加して、「自分自身が成長した」と回答。保護者からは、「児童生徒の意識が変わった41%、意識向上につながった46%」との回答が得られた。(対象者55世帯 回収率89%)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)	
		目標	( )	交流推進と意識高揚	交流推進と意識高揚	交流推進と意識高揚	( )
	実績		交流推進と意識高揚	交流推進と意識高揚	交流推進と意識高揚		
	【H30成果目標】派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標				80%以上	
進捗状況説明	本事業による負担軽減により、児童生徒を島外へ派遣し交流する機会が増えたことで、児童生徒の意識高揚につながった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	離島の不利性として、飛行機・船の運行は、天候に左右される機会が多く、全ての活動に参加することは困難であり、開催時期が決まっている大会等は、やむなく不参加とならざるを得ないが、日程調整が可能な体験学習等は、台風の時期を避けたり、別日をあらかじめ設定する等、対応策を検討する必要がある。	・相手との調整次第で、派遣日を変更できるものは、事前に別日の設定等を行っておき、急な天候不良にも可能な限り対応できる体制を整えておく。また、大会に参加できなかった場合は、他校との交流試合等を検討するなど、柔軟に対応する。

今後の取り組み方針
・今後も児童生徒の派遣を支援し、よりレベルの高い環境で経験を積むことで、技術の向上や精神の鍛錬等における成長に寄与するとともに、部活動の強化を図る。天候不良で予定していた大会等に参加できない場合は、別日で島外の学校と交流を持つなど、柔軟な対応を検討する。大会等に合わせて複数の教育活動を行うことにより事業の有効かつ効率化を図るとともに、島外教育事業の派遣要項の見直しと、保護者の負担軽減の拡充をする必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,522	3,522	2,817	705	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	・小体連、中体連の派遣事業等に限定しているため、支出先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担として、補助金上限額を超える分は負担してもらっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、精算段階で、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。



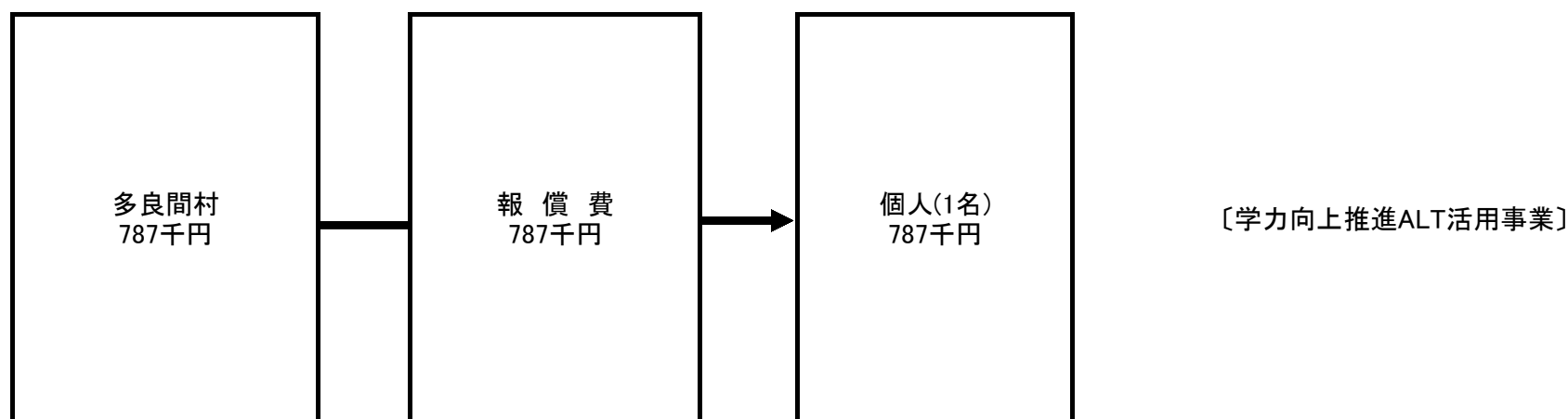
市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-②	学力向上推進ALT活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	多良間村教育委員会・教育課	事業実施(予定)年度	平成27～平成33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	28年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	394	788	788		
		(b) 予算現額	394	788	788		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	394	788	788		
	B. 執行済額		394	784	787		
	うち交付金充当額		314	627	629		
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.5%	99.9%		
予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	外国語指導助手(ALT)招聘年間20回		目標 ( 10回の招聘 )	( 20回の招聘 )	( 20回の招聘 )	( )	
			実績 10回の招聘	20回の招聘	20回の招聘		
達成状況説明		外国語指導助手(ALT)を年間20回招聘することにより、学校生活の様々な場面における交流や触れ合いの中で異文化に対する興味・関心を喚起し、理解を深めることにより、国際理解教育の充実を図り、国際感覚の醸成に寄与することができた。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	ALTを招聘して児童生徒の英語力向上を図り、国際化社会に対応できる人材を育成を図る。		目標 ( )	( 国際社会に対応できる人材の育成を図る )	( 国際社会に対応できる人材の育成を図る )	( 国際社会に対応できる人材の育成を図る )	( )
			実績	国際社会に対応できる人材の育成を図った	国際社会に対応できる人材の育成を図った	国際社会に対応できる人材の育成を図った	
	【H30成果目標】 ・小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ・中学校 英検の合格率50%以上		目標				・小学校(80%以上) ・中学校(英検合格率50%以上)
	進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校:5・6年生を対象とした当事業は、児童の英語力向上につながり、人材育成を図ることができた。</li> <li>●中学校:中学校全学年を対象としたこの事業により、英検の各級の合格率がアップし、期待通りの成果が得られた。</li> </ul>				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・小中学校ともに、英語に対する興味・関心をさらに高めてもらうため、これまでの事業内容を振り返り、①授業内容の工夫や②ALTの資質向上を図る必要がある。	<p>①小学校では、英語の音声と文字との関係を学ぶカリキュラムを充実させ、中学校では、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」をなくすような授業カリキュラムを検討する必要がある。</p> <p>②ALTの資質向上をはかるため、定期的な研修や事業内容の振り返り及び情報交換を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>①小学校では、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に加え、徐々に英語に慣れ親しまれるといったステップを踏んだ授業カリキュラムを展開することで、授業が難しいと感じる児童を減らし、外国語活動の充実を図る。中学校では、中学校英語教諭が小学校外国語活動の授業パターンや活動内容を十分把握し、新たに文字を扱うことによる「文字への抵抗感」を減らせるよう、小学校と同様に、「聞くこと・話すこと」の活動への評価のフィードバックの徹底を図る。</p> <p>②ALT(外国語指導助手)の資質向上を図るため、定期的な研修や事業内容の振り返り及び情報交換を行う。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
787	787	629	158	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)は、調査及び考慮の上選定しており、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はなく、適正な規模と考えます。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途は予定通りで、目的に即した適正なものであった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-③	幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3-3-(11)-イ	
担当部課名	多良間村教育委員会	教育課	事業実施 (予定)年度	平成28年度～29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上  Ⅲ-3-1	
事業内容	幼稚園の教育課程修了後も引き続き園児の健やかな成長を支援するため、保育教諭(保育士、支援員)を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	1,344	940			
		(b) 予算現額	857	940			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 487	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	857	940			
	B. 執行済額		440	871			
	うち交付金充当額		352	697			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		51.3%	92.7%			
予算の状況の説明		当初予算は、940千円を措置。補正予算の増減はなく、予算見込範囲内の872千円を執行した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	幼稚園預かり保育教諭(保育士)の配置	目標	( 配置 )	( 配置 )	( )		
		実績	配置	配置			
		目標	( )	( )	( )		
		実績					
達成状況説明	預かり保育がスタートして1年になり、安定した預かり保育支援ができています。何事にも興味津々の園児たちだけに、お互いが刺激しあっているいろいろな経験ができ、園児の関心を広げるとともに社会性も育むことができています。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	預かり保育を希望する園児の100%受け入れ	目標	( )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	( )
		実績		100%	100%		
	【参考指標】 預かり保育園児数 クラス別人数	目標		24名 (さくら組13名) (ばら組11名)	28名 (さくら組15名) (ばら組13名)	27名 (さくら組12名) (ばら組15名)	
		実績		28名 (さくら組15名) (ばら組13名)	28名 (さくら組15名) (ばら組13名)		
	進捗状況説明	目標としていた預かり保育を希望する園児の100%受入が達成できた。幼稚園の教育課程修了後の園児28名の居場所づくり、安全確保や保護者の家庭支援につながった。今後も、保護者にとって安心・安全な支援と園児の居場所づくり、更なる園内体制の整備や関係機関との連携及び協力体制のもと、個に応じた対応と園児が健やかに成長できるような環境整備に努める。					

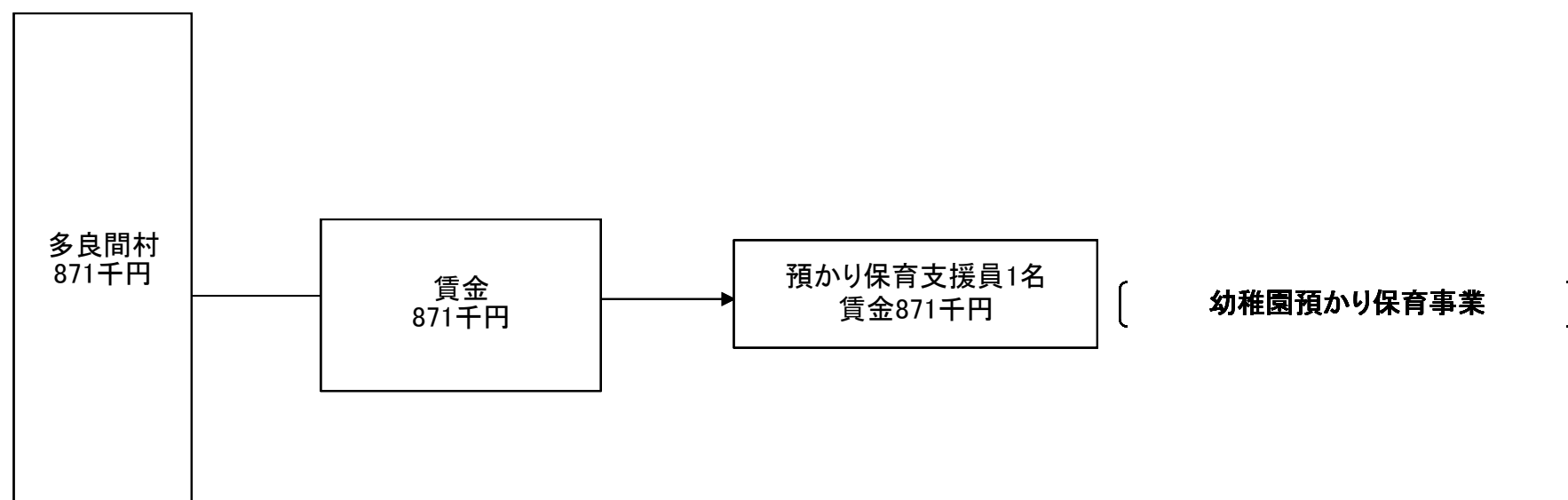
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる改善を図るため、支援員の質の向上(特別な支援を要する園児への対応のため)及び増員(職員の研修と支援員の休暇が重なる状況に対応するため)を行う必要がある。</li> <li>・家庭状況で片親世帯や養育困難な世帯があり、長期休暇中の給食が無いため弁当を持たせることが負担という声もあり、給食対応の要望が上がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員の増員・質の向上を図るため、関係機関との情報交換及び研修会を定期的実施することで、現状を把握するとともに、どの時期に人手が足りないのか、特別な支援を要する園児への対応の仕方などを検討する必要がある。</li> <li>・給食対応については、保護者からの要望を把握する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・関係機関との情報交換及び研修会を実施し、現状を把握することで、更なる改善を行い、幼児の生活全体が豊かなものとなるよう教育支援と環境整備に努める。
- ・給食対応について、ニーズを把握するためアンケートを実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
871	871	697	174	0



資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は妥当である。 ○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、生産段階で検査をしており、目的に即した必要なものと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-④	村営学習塾開設事業					
担当部課名	多良間村教育委員会・教育課	事業実施(予定)年度 平成28～平成33年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上					
		沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(1)					
事業内容	学校外の学習環境を整備することで、学力の向上を図るため、村営の学習塾を開講する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,362	15,012			
		(b) 予算現額	16,362	15,012			
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	16,362	15,012			
	B. 執行済額		15,012	15,012			
	うち交付金充当額		12,009	12,009			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		91.7%	100.0%			
予算の状況の説明		当初の計画通りで、想定内の予算執行状況であった。尚、88千円の減額は入札結果による「入札残」である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	児童生徒の学力向上	目標	( 開 設 )	( 学力向上 )	( )	( )	
		実績	開 設	学力向上			
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	村営学習塾を開設し、学びたいと希望を持つ児童生徒を受け入れることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 平均正答率の差 )	( 小学校-8P以上/中学校-13P以上 )	( )	( )
	実績		平均正答率の差	小学校-4.2P/中学校+4.0P			
	【参考指標】	目標	( )	( 受験生全員合格 )	( 受験生全員合格 )	( )	( )
		実績		受験生全員合格	受験生全員合格		
	進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査における県と本村学習塾受講生との平均正答率の差については、小学校(目標:-8P以上 実績:-4.2P)、中学校(目標:-13P以上 実績:+4.0P)ともに、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や学校行事の関係で、出席率が悪かったため改善策を検討する必要がある。</li> <li>均一的な授業だけでなく、学力に応じた授業カリキュラムを検討し、全体の底上げを図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校、中学校それぞれの部活動や学校諸行事等の関係で、出席率が悪かった月がある。⇒ 学校側と部活動の時間帯や諸行事の日程調整が必要。⇒ 塾の授業が火・水・木に行われるため、その曜日は塾を優先してもらう。⇒ 塾の日程を小学校及び中学校の年間計画に入れてもらうとともに、周知を図り、部活動の時間帯調整、学校の諸行事の日程調整を検討してもらう必要がある。</li> <li>全ての児童生徒の個々の学習ニーズに可能な限り応えられる学習の場、環境を整備し、それぞれの学力に応じた授業カリキュラムの構築を図る必要がある。</li> </ul>

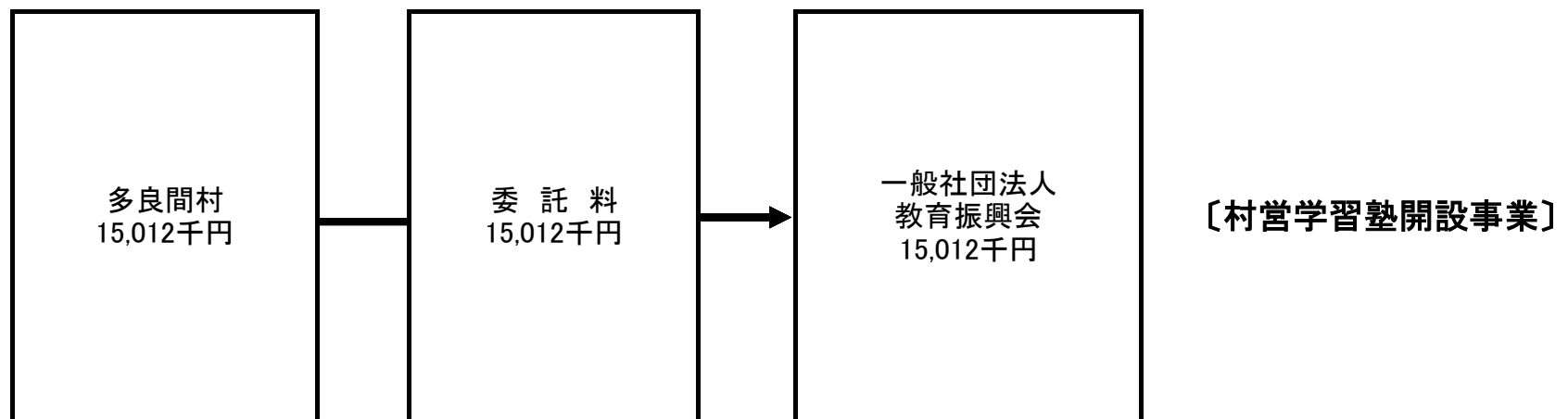
**今後の取り組み方針**

・出席率改善のための取組として、学校と調整を行い、行事や部活動の時間帯について調整を行ってもらう(状況によっては、塾の時間を調整してもらう)等、児童生徒が塾に通えるような年間スケジュール調整を依頼する。

・学校との情報交換(各児童生徒のレベル把握)を行い、それぞれの学力に応じた授業カリキュラムを定め、全体の底上げを図り沖縄県学力到達度調査における県平均との格差縮小に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,012	15,012	12,009	3,003	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額がなく、予算規模は適正な規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は発生しない。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支払いの度に検査を行い、目的に即し、必要なものだと判断する。

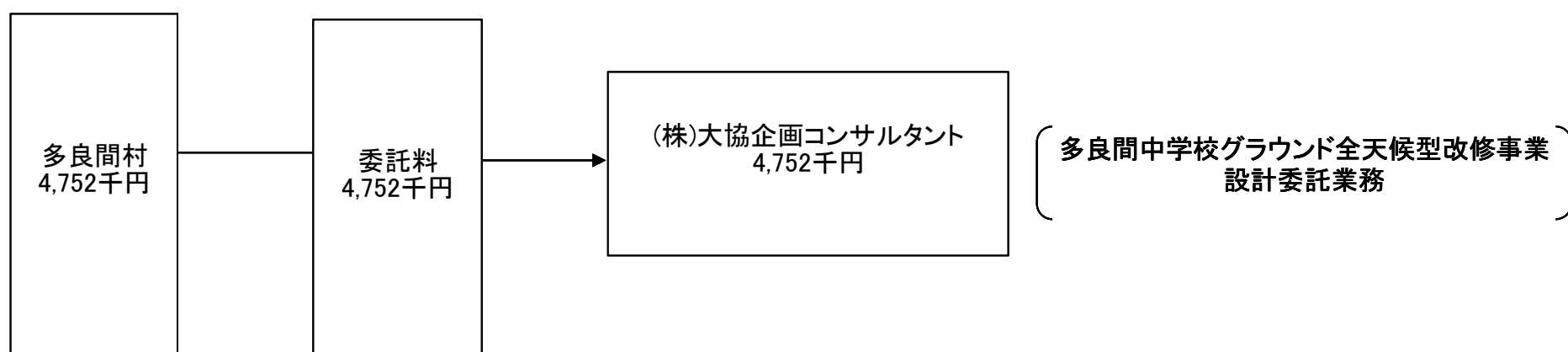
市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-⑤	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業					
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度 平成29～30年度					
		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
		沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	児童生徒や村民の体育環境を改善するため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修し、雨天時後のグラウンド環境の悪化による大会中止や運動する機会の減少を防ぐ。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(31年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	5,743				
		(b) 予算現額	4,752				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 991				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	4,752				
	B. 執行済額		4,752				
	うち交付金充当額		3,801				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画では、建築設計事務所へ発注予定で設計と測量費を別計上して予定価格を組んでいたが、土木コンサルへの発注が妥当であるとのことで設計委託積算すると予算減(991千円減)となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	実施設計の作成	目標	( 実施設計の作成 )				
		実績	実施設計の作成				
達成状況説明	実施設計の作成完了						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(31年度)
	実施設計の作成完了	目標	( )	( 実施設計の作成完了 )	( )	( )	( )
		実績		実施設計の作成完了			
	【H31成果目標】 村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止・日程変更等の回数 0回	目標					0回
		進捗状況説明	実施設計を完了することで目標を達成できた。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・学校敷地内の工事となるため、重機等の騒音が授業に支障を来す恐れがある。</p>	<p>・学校敷地内での工事となることから、授業や学校行事の支障とならないような日程管理(夏休み等、長期間の休みを利用する)を工夫しながら進める。</p>

今後の取り組み方針
<p>・学校の予定等を十分考慮し、学校教育に影響のないよう進め、安全管理を十分に行う。また調整を早めに行うことにより早期発注、工事完了を目指す。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,752	4,752	3,801	951	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えてる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



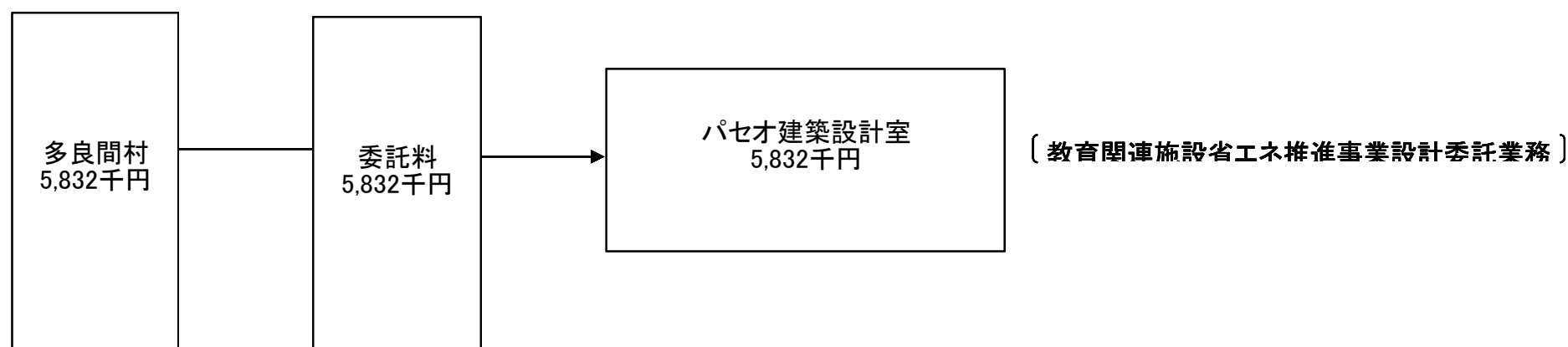
市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-⑥	教育関連施設省エネ推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進		
事業内容	環境保全のため、教育関連施設(多良間小、中学校、幼稚園、村立図書館、民俗学習館、共同調理場)に環境負荷の少ないLED照明を整備し、二酸化炭素排出量の抑制を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(31年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,702				
		(b) 予算現額	5,832				
		(c) 増減額(b-a)	130				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	5,832				
	B. 執行済額		5,832				
	うち交付金充当額		4,665				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画より少し増となったが想定内の予算執行状況であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	実施設計の作成	目標	( 実施設計の作成 )	( )	( )	( )	
		実績	実施設計の作成				
達成状況説明	多良間小学校、中学校、幼稚園、村立図書館、民族学習館、共同調理場の教育関連施設の照明をLED化するための実施設計の作成完了						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(31年度)
	実施設計の作成完了	目標	( )	( 実施設計の完了 )	( )	( )	( )
		実績		実施設計の完了			
	【H31成果目標】 二酸化炭素排出削減量 78,514kg		目標				78,514kg
進捗状況説明	実施設計を完了することで目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・各施設の利用状況を把握し、施設運営に支障を最低限にするよう工夫しながら推進する必要がある。</p>	<p>・各施設の運営状況を確認しながら、可能な限り支障が出ないように整備スケジュール(小中学校は夏休みなどの長期休暇期間に実施する等)を設定する。</p>

今後の取り組み方針
<p>・各施設の関係者とスケジュール確認を行い、業務や住民サービスに影響のないよう進める。調整を早めに行うことにより早期発注、工事完了を目指す。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,832	5,832	4,665	1,167	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えてる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額も事業内容に見合った執行となっており、適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

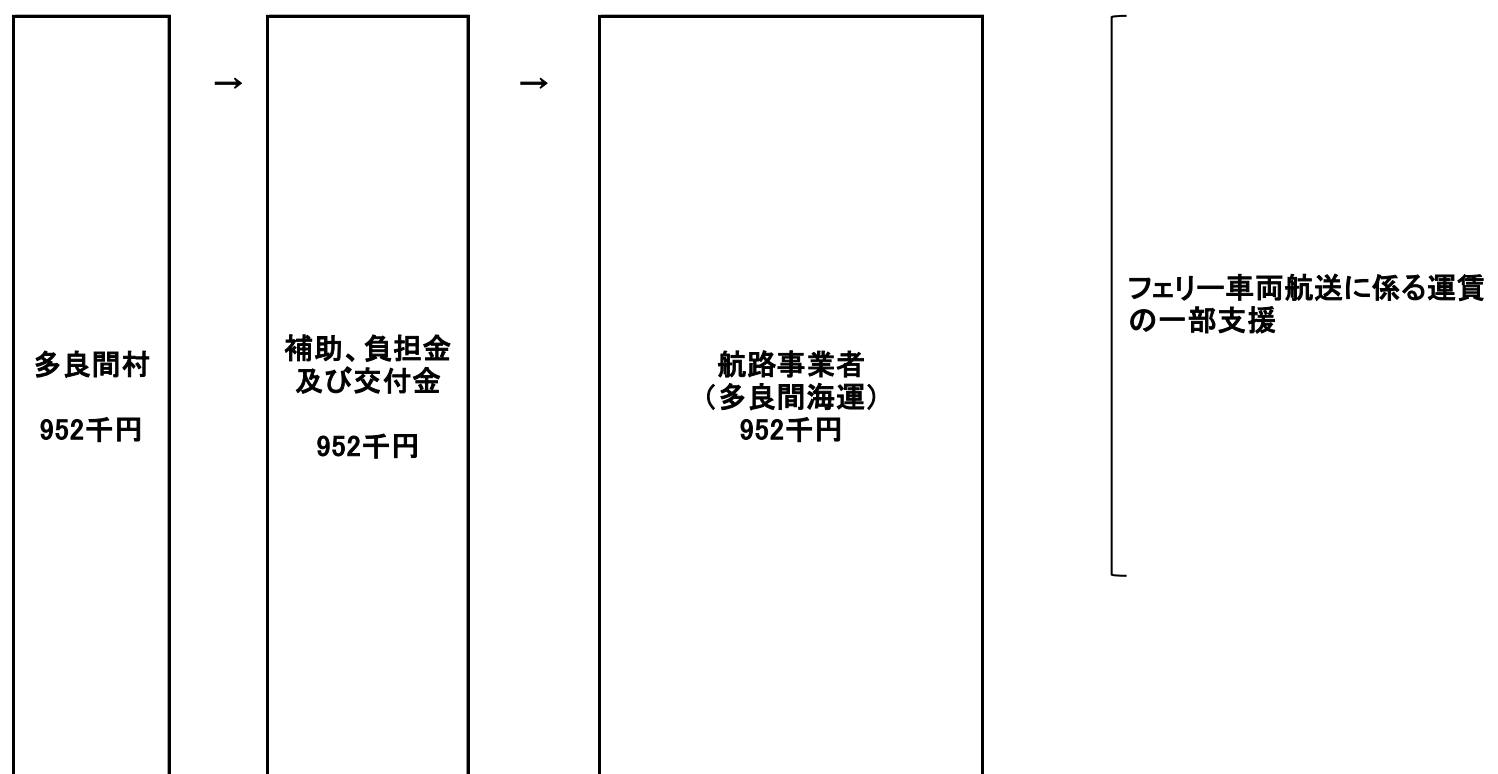
市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア		
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成27~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島住民の利便性を確保するため、高額である多良間島⇄宮古島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	2,986	1,574	1,574		
		(b) 予算現額	986	1,079	1,169		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,000	▲ 495	▲ 405		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	986	1,079	1,169		
	B. 執行済額		389	932	952		
	うち交付金充当額		311	745	761		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		39.5%	86.4%	81.4%		
予算の状況の説明		実績を踏まえて、当初予算を計上したが10月末時点で利用実績が昨年度を下回っており、3月末までに利用増が見込まれないため補助金を495千円減額した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	宮古島⇄多良間島間の自動車航送コスト負担の軽減		目標 ( 軽減 )	( 軽減 )	( 軽減 )	( )	
			実績 軽減	軽減	軽減		
達成状況説明		もともと、自動車航送運賃が高額で50%の補助では、宮古島市でレンタカー利用が有利の場合もある。現在の利用は、宮古島市での買い物や長期滞在時の利用など利用が限定的で有り、117台分の予算を確保したが70台の自動車航送運賃にとどまった。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	自動車航送コスト負担軽減による、定住環境の改善		目標 ( )	( 定住環境の改善 )	( 定住環境の改善 )	( 定住環境の改善 )	( )
			実績	定住環境の改善	定住環境の改善	定住環境の改善	
	【H30成果目標】宮古島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標				80%以上
	進捗状況説明		目標台数117台に対して70台にとどまったものの、本事業により、宮古島での移動手段の確保(自家用車で宮古島を回れる)や車検時の費用負担軽減につながっており目標としていた定住環境の改善に資することができた。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>自家用車所有者に情報が行き届いていないという声があったため、本事業について広報等を工夫することで、周知度を深め、活用を促す必要がある。</p>	<p>村ホームページへの掲載だけでなく、企業や自治会等にも情報発信を依頼し、自家用車所有者に情報が行き届くように努める。</p>

今後の取り組み方針
<p>周知チラシを作成し、ホームページへの掲載だけでなく、営業所や組合事務所などにも貼り付けを行い、本事業の活用を促す。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
952	952	761	191	



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先については、航路事業者が1事業者しかいないため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・実績の状況に応じ年度内で減額を行うなど、事業内容に見合った予算規模となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・利用者も一定の負担をしており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については実績報告時において支出等に関する書類により確認適正であった。

市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-②	多良間村食品・日用品輸送費補助減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(11)-ア		
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成28~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	沖縄本島よりも割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び宮古島から多良間島へ輸送される生活必需品等の輸送経費等の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	7,247	8,567			
		(b) 予算現額	5,933	9,091			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,314	524			
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	5,933	9,091			
	B. 執行済額		5,228	8,400			
	うち交付金充当額		4,182	6,719			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		88.1%	92.4%			
予算の状況の説明		大型公共工事の影響で島外から多くの作業員が一時的に居住しており、村内商店での食品・日用品等の買い物客が前年より増加した。当初見込んでいた額を上回ることが予想されたため、3月補正で9,091千円に増額した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援		目標 (日用品等の輸送経費及び作業経費の支援)	(日用品等の輸送経費及び作業経費の支援)	( )	( )	
			実績 日用品等の輸送経費及び作業経費の支援	日用品等の輸送経費及び作業経費の支援			
達成状況説明		村内4つの店舗において食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を行った。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
	沖縄本島との生活必需品等の価格差の縮小 -5.5ポイント以下		目標	( )	沖縄本島との価格差の縮小 (-5.5ポイント以下)	( )	( )
			実績	沖縄本島との価格差の縮小	-14.7ポイント		
	進捗状況説明		宮古島から多良間島へ輸送される、生活必需品等の輸送経費等の支援により生活コストの低減を図った結果、沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小を図ることができ、目標を達成した。 H27指数 127.2(事業開始前) H28指数 121.7(事業開始後) ※H27と比較し-5.5ポイント分、本島100に近づいた。 H29指数 112.5 ※H27と比較し-14.7ポイント分、本島100に近づいた。				

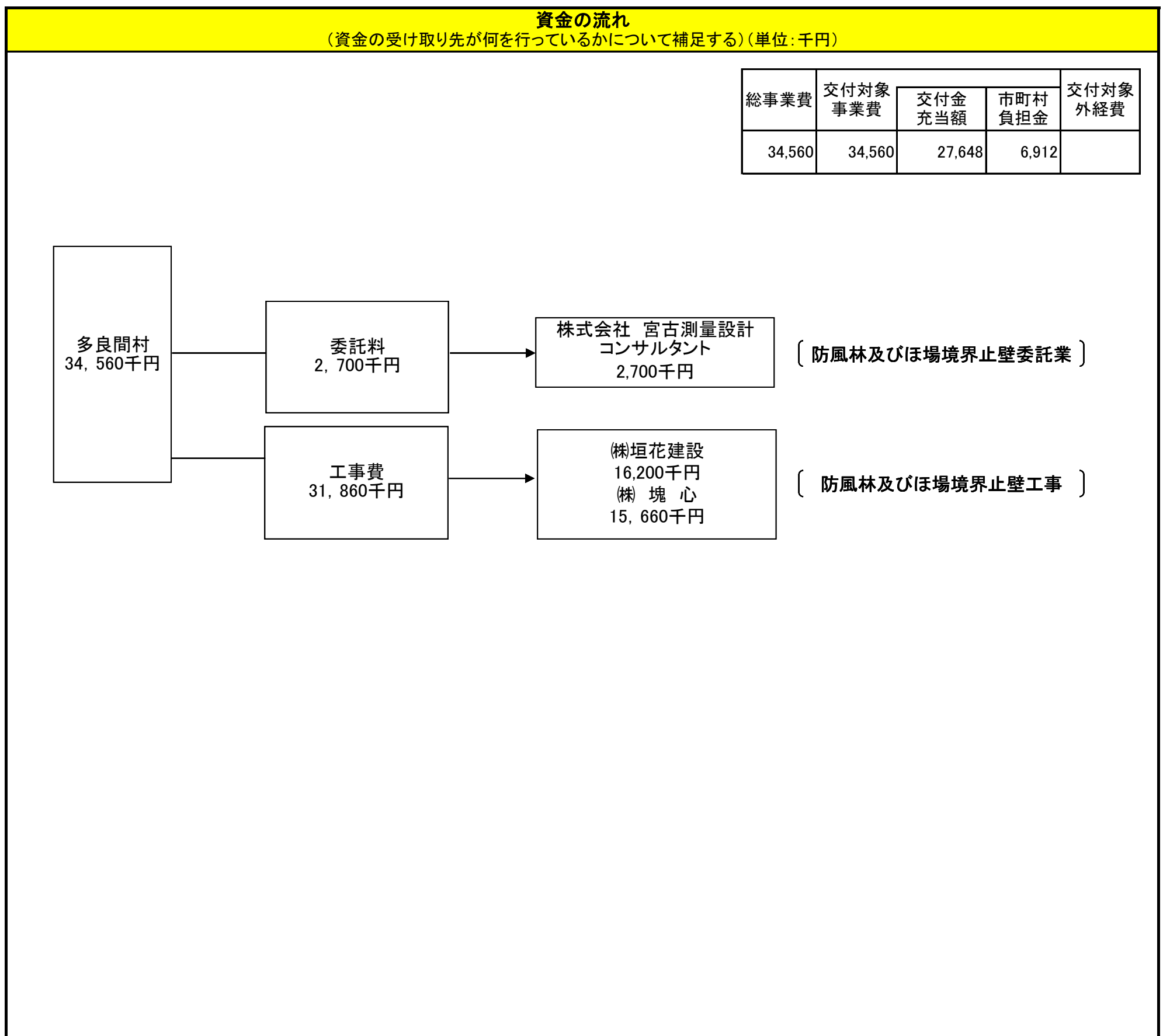
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本事業の周知と事業効果について、周知方法を工夫する必要がある。</p>	<p>・本事業の周知と事業効果の向上に向けて、広報誌への掲載や店舗へポップや値引きシールを配布し店頭へ設置するなどして活用してもらう。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・広報誌等を活用し、購買者へ本事業での価格差縮小による効果について認識してもらう。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,400	8,400	6,719	1,681	
<pre> graph LR     A["多良間村 8,400千円"] --&gt; B["補助、負担金 及び交付金 8,400千円"]     B --&gt; C["航路事業者 (多良間海運) 8,400千円"]     C --- D["宮古島からのフェリーによる日用品等 の輸送費を支援"] </pre>					

資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	航路事業者が1事業者しかないため妥当である
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	県と共同で助成するため総事業費の50%が村の事業費となる
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者との負担関係は発生しない
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	実績報告時において支出等に関する書類により確認しており適正であった

市町村名	多良間村						
<b>平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	5-①	防風林及びほ場境止壁設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-ウ-(イ)		
担当部課名	多良間村土木建設課	事業実施(予定)年度	平成28~31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	防風林を保護し、さとうきびの収穫量の増を図るため、ほ場と防風林の境界に止壁を設置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	5,000	35,000			
		(b) 予算現額	4,806	34,560			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 194	▲ 440			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計(b+d)	4,806	34,560			
	B. 執行済額		4,806	34,560			
	うち交付金充当額		3,844	27,648			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		計画通り執行したが入札残が生じたため減額となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	平成29年度止壁設置工事の実施	目標	( 実施設計の作成 )	( 工事の完了 )	( )	( )	
		実績	実施設計の作成	工事の完了			
達成状況説明	今年度は、29年度が始まる前から農家との作付け調整を行っており、工事が順調に進み工事の早期完了することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(30年度)
	平成29年度止壁設置工事の完了	目標	( )	(実施設計の作成完了)	( 止壁設置工事の完了 )	( )	( )
		実績		実施設計の作成完了	止壁設置工事の完了		
	【H30成果目標】 止壁設置箇所における防風林帯への大型機械の進入回数 0回		目標				0回
進捗状況説明	今年度事業の対象としていた部分(止壁設置工事)について、工事を完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・整備が完了した止壁の適正な利用及び管理については、農家との連携が必要である。</p>	<p>・止壁の適正な利用及び管理方法について、マニュアルを整備し、農家へ周知する必要がある。</p>
<p>・施工完了した止壁についての適正な利用及び管理、農家への周知を行うとともに、30年度以降の工事予定箇所の農家に対しても工事前から説明を行い事業を円滑に進めていく。</p>		



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えてる。 ○不用額は事業費の5%以内であり適当な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		